



展覧会スケジュール

2023.03 → 2024.06

展覧会スケジュール

※詳細はWEBサイトでご確認ください。

2023 3月21日(火・祝)～6月11日(日)

共催展

3 ポケモン×工芸展 一美とわざの大発見ー

4 ポケモンと工芸、正面切って出会わせたらど
んな化学反応が起きるだろう。この問いに人
間国宝から若手まで20名のアーティストが
5 本気で挑んでくれました。会場で皆さんを待
ち構える作品たちとの出会いははたして…
ワクワク、うっとり、ニヤニヤ、それともゾ
クツ? かけ算パワーで増幅した美とわざの発
見をお楽しみください。



吉田泰一郎《サンダース》2022年
個人蔵
©2023 Pokémon.
©1995-2023 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.
Photo: Taku Saiki

6 7月7日(金)～9月24日(日)

7 水のいろ、水のかたち展

「水」をテーマに、工芸・デザイン作品に表
現された水や水をいれる器に注目してご紹
介する展覧会。水は多くの作家に着想を与
え、様々な色や形、技で表現されてきました。
8 蒔絵で描かれた波紋や、急流を感じさせる竹
の編み方、鮮やかに染めた水辺の景色など、
とらえどころのないものだからこそ作家の観
察眼や個性が表れる作品をお楽しみください。



深見陶治《初めての航海》1975年
国立工芸館蔵
Photo: Tomoya Nomura

9 10月14日(土)～11月26日(日)

特別展

第38回国民文化祭 第23回全国障害者芸術・文化祭 いしかわ百万石文化祭2023
国立工芸館・石川県立美術館 共同開催

10 三の丸尚蔵館名品展(仮称)

皇室に伝わる美術品類は、上皇陛下および
香淳皇后により平成元年に国に寄贈され、
宮内庁三の丸尚蔵館で保存、展示公開され
てきました。本展では同館収蔵品から、時代
を代表する作品や石川ゆかりの工芸品を選
りすぐり紹介します。隣接の石川県立美術館
では絵画や書跡作品を中心に展示し、2館
12 で1つの展覧会として開催します。



海野勝珉《太平楽置物》1899年
宮内庁三の丸尚蔵館蔵

12 12月19日(火)～3月3日(日)

特別展

印刷／版画／グラフィックデザインの断層 1957-1979

マス・コミュニケーション時代が到来した戦
後の日本では、印刷技術が飛躍的に発展し、
版画とデザインの関係性がとりわけ議論の
対象になりました。
2 本展では、1957年から1979年まで全11
回にわたって開催された「東京国際版画ビ
エンナーレ展」に焦点をあて、版画とグラ
フィックデザインが交錯した時代の様相を
3 ご紹介します。



横尾忠則
《第6回東京国際版画ビエンナーレ展》1968年
東京国立近代美術館蔵

4 3月19日(火)～6月2日(日)

共催展

卒寿記念 人間国宝 鈴木藏 展(仮称)

重要無形文化財「志野」の保持者(人間国宝)、
鈴木藏(1934年生まれ)の作陶の軌跡と
“今”を紹介します。鈴木は、薪窯でしか焼け
ないとされていた「志野」にガス窯で挑戦し、
伝統を大切にしながらも独自のスタイルを確
立していきました。2024年に卒寿を迎えるの
を機に、初期から最新作までの優品を通して、
その神髄に触れていただきます。



鈴木藏《志埴大皿》1991年
個人蔵